

# 地域の和と販路開拓によりトップランナーに ～新技術・新作目へのチャレンジを通して～

株式会社ファームおそのづか（高島町）

## 1 受賞者の概要

- (1) 平成 19 年に品目横断的経営安定対策に対応するため設立した特定農業団体「ファームおそのづか」を平成 21 年 3 月に法人化
- (2) 小其塚（おそのづか）集落の農地 80haのうち、40ha を経営する地域の担い手経営体
- (3) 構成員：役員 4 名、出資者 1 名
- (4) 経営作目：水稻（直播面積約 4 割）、大豆、啓翁桜、青菜



法人役員と地権者の皆さん

## 2 特色ある活動

### (1) 農業のトップランナーとしての経営を確立

- ア 法人設立時から、販売額と補助金等を併せた年間収入額はトップランナーとしての水準を確保しており、平成 28 年度の収入額は設立時の約 1.6 倍まで拡大
- イ 収益増加分を経営基盤強化準備金として積立て、平成 29 年に建設した米乾燥調製施設の建設費に充当
- ウ 水稻面積の約 4 割で直播栽培を実施し、移植栽培と同等の単収を確保

### (2) 園芸作目導入による経営の周年化を実現

- ア 役員が 20 年前から栽培した啓翁桜を法人に引き継ぎ、冬期間の収益を確保
- イ 特定農業団体設立当初から青菜を栽培し、漬物業者 2 社に販売
- ウ 啓翁桜と青菜の導入により、年間を通じた就労の場を創出

### (3) 販路開拓の努力により、自社農産物の約 5 割を直接販売

- ア 米は、町内スーパー・南陽市の会社の社員食堂・南陽市の病院・赤湯温泉と米沢市の旅館 4 軒等に販売
- イ 酒米は、J A を通して町内の酒造業者に販売
- ウ 大豆は、生産量の 2 割に当たる 3 t を米沢市の味噌加工業者に販売
- エ 青菜は、漬物業者 2 社に、市場価格より 2 割程度高く販売
- オ 自社ホームページで、米と啓翁桜を販売

### (4) 地域への貢献

- ア 法人が集落農地を有効活用しているため、遊休農地は発生していない
- イ 法人の事業により、集落内に 9 名の雇用を創出

## 3 今後の発展方向

- (1) 経営規模を現在の 45ha から 2 倍程度に拡大
- (2) 新たな販路を開拓し、さらなる有利販売を実現
- (3) 2 年後に法人事業に専従する予定の 40 代の役員を含め、後継者を育成